

授業科目名	生涯スポーツ論	担当教員名	関根 正美 加藤 裕二
必修/選択	選択 (ジュニアスポーツ指導員資格)	開講学年・学期	2年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の資格取得科目	単位数	1単位 (時間)
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	<p>I-1「スポーツとは何か」についての定義づけを明確にし、スポーツ発展の経緯と現代スポーツの考え方 (社会環境の変化とスポーツを取り巻く環境) について理解を深める。現代スポーツの考え方を明らかにし、スポーツを文化として捉えることの重要性について理解を深め、スポーツ技術・戦術以外のスポーツの文化的な内容であるスポーツ観及びスポーツ規範 (ルール、マナー、エチケット、ドーピング防止等) の重要性について学習する。</p> <p>II-1スポーツ指導者は、スポーツ技術指導の専門家としてはもちろんであるが、社会の中でスポーツが果たす役割についても学ぶ必要がある。現代社会において、スポーツの魅力を多くの方に伝え、良き理解者を増やすためにも、指導者自身がスポーツと社会との関わりについて理解し、スポーツの社会的価値を高めていかなければならないことを理解する。</p> <p>III-1 スポーツ指導者として求められる理想像について理解を深め、スポーツ指導者の役割とは、どういうことであるのかを学習する。スポーツの意義と価値について理解を深め、国民スポーツ推進のために中心となる公認スポーツ指導者の役割について学習する。</p>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの起源を説明し、発展の歴史を 探る</li> <li>・スポーツの発展について、日本の特徴を 探る</li> <li>・現在と将来の社会的背景とスポーツ環境を把握する</li> <li>・これまでのスポーツの考え方、生涯スポーツの対象と課題及びこれからの指導理念を明らかにし、スポーツの文化化について説明する。</li> <li>・文化現象としてのスポーツを説明し、スポーツを文化としてとらえることの重要性を説く。</li> <li>・理想のスポーツ指導者像やスポーツ指導者はなぜ有資格者であるべきなのかを議論させるとともに、公認スポーツ指導者について理解させる。</li> </ul>		
テキスト	公益財団法人 日本スポーツ協会 リファレンスブック 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目 I および II		
参考書・参考資料等	随時プリントを配布		
成績評価の方法	期末テスト70% 平常点30%		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	スポーツとは (スポーツの歴史的発展と現代スポーツの考え方)		I-1
第2回	スポーツとは (スポーツを取り巻く環境)		I-1
第3回	文化としてのスポーツ (スポーツの文化性、文化的な内容、スポーツ観)		I-1
第4回	文化としてのスポーツ (スポーツ規範、ボランティア)		I-1
第5回	社会の中のスポーツ		II-1
第6回	我が国のスポーツプロモーション		II-1
第7回	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり		III-1
第8回	総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的意義 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」		III-1
定期試験	筆記試験		